

●評価書素案

都市再生緊急整備地域名	小倉駅周辺地域
-------------	---------

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	【北九州市都市計画マスタープラン(平成30年3月改定)】 北九州都市圏、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の中核として、国際的・広域的な交流拠点にふさわしい、様々な高次都市機能が集積された躍動的で魅力豊かなまちづくりを目指す。 【北九州市立地適正化計画(平成29年4月公表)】 北九州都市圏の中心核であり、周辺の市町村も含めた都市圏や国内外をも対象とする高次の都市機能の集積・維持・向上を図る地域として、都市機能誘導区域及び居住誘導区域に位置付けている。 【2050まちづくりビジョン(令和4年3月公表)】 北九州市の都心及び拠点である小倉・黒崎・東田の3地区を対象に、約30年後を見据えた2050まちづくりビジョンを策定。	これまでに市街地再開発事業などによる4地区の都市開発事業とPFIによるスタジアム整備、都市再生特別地区の決定を受けた住宅、業務、商業等の整備が完了しており、商業、業務、文化教育、住宅、観覧場等が整備されている。 今後も、商業、業務、住宅等を整備するプロジェクトについて、調整が行われている。 公共施設整備については、計画されていた全ての道路、横断歩道橋の整備が完了している。現在、土地区画整理事業と合せた河川改修事業が実施中である。	・人口(地域内) 2,272人(H17)→3,666人(R3) :約61%増(市全体:約6%減) ・世帯数(地域内) 1,458世帯(H17)→2,619世帯(R3) :約80%増(市全体:約17%増) ・地価(地域内)※H19に地点変更有 55.0万円/㎡(H19)→41.8万円/㎡(R3) :約24%下降(市平均:約23%下降) ・歩行者交通量(中心市街地) 146,958人/日(H19) →169,268人/日(R1)	

項目別評価	「北九州市都市計画マスタープラン」において、整備の方向性が示されている。 また、H29年度から運用開始の「北九州市立地適正化計画」において、小倉都心は、都心機能誘導区域・居住誘導区域として位置づけられている。	都市開発事業や公共施設整備事業が進捗している。今後も、都市開発事業が予定されており、調整が行われている。公共施設整備事業については、予定されていた最後のプロジェクトが実施中である。	人口、世帯数、歩行者交通量において、都市再生の効果の発現が認められる。	
総合評価	都市開発事業・公共施設整備が進捗し、整備の目標の実現が図られつつある。 今後も、予定されている都市開発事業等について引き続き推進する必要がある。 あわせて、R3末に策定された「2050まちづくりビジョン」に則した都市開発事業等を推進していく必要がある。			⇒ 地域指定を継続(地域整備方針を変更)